

大子町議会で「読書のまち」宣言を採択

平成19年6月、大子町議会で「読書のまち」宣言が採択されました。

読書の良さを活かし、読書を楽しむ人があふれる町づくり、読書を通じて心の豊かさを育む町づくりを目指すために、赤ちゃんを読書の世界へ導く「ブックスタート」、園児に読書の楽しさを伝える「読み聞かせ」、児童生徒に読書の習慣を身につける「朝の読書」、家族で親子のきずなを深める「家読(うちどく)」、そして、読書の環境を整えるために町民が力を合わせて取り組むことを全国に発信しました。

この宣言を具現化するために、保健センターに「乳幼児用絵本」の購入、小中学校での「朝の読書」や「家読」を推進するための図書整備や図書館の強化など、学校・家庭・地域全体で町民の理解のもとに、町民の生涯学習事業として展開していくことになりました。

宣言文は次のとおりです。



「読書のまち」宣言



私たち日本人は、「自ら努力すること」や「人を思いやること」を大切にしながら、世界でもまれな、心の豊かな国を築いてきました。

しかしながら、近年、心の豊かさが失われつつあるような社会的な事件などが数多く見受けられます。

日本人のかけがえのない宝である心の豊かさを守り、育て、広げ、次の世代に伝えていくことが、今、私たちの大きな願いです。

私たちは、この願いを読書に託します。

読書は、私たちを、時間や距離を超え、豊潤な思想との出会いに導きます。

特に、幼児や青少年の読書は、彼らに多くの知的所産を与えるとともに、多様な創造力を培い、豊かな感性を育みます。

私たちは、このような読書のよさを活かし、読書を楽しむ人があふれる町づくり、読書を通じて心の豊かさを育てる町づくり、読書のすばらしさを全国に発信する町づくりを目指し、



赤ちゃんを読書の世界へ導くために、〔保健センターで〕【ブックスタート】に取り組みます。



園児に読書の楽しみを伝えるために、〔保育所・幼稚園で〕【読み聞かせ】に取り組みます。



児童生徒に読書の習慣を育むために、〔小中学校で〕【朝の読書】に取り組みます。



親子の、読書を通してのコミュニケーションを培うために、〔家庭で〕【家読（うちどく）】に取り組みます。



大子町の、読書の環境を整えるために、〔町中で〕力を合わせ全力で取り組みます。

2007年 私たち大子町は、この価値ある事業に町を挙げて取り組みます。

そして、読書のまち、ふるさと大子に誇りを持ち、日本中の人々に、読書のすばらしさを伝えます。

以上、今ここに「読書のまち」大子を宣言します。

平成19年6月13日

大 子 町